

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 23 年 11 月 4 日 (2011.11.4)

【公開番号】特開 2009-77032 (P2009-77032A)

【公開日】平成 21 年 4 月 9 日 (2009.4.9)

【年通号数】公開・登録公報 2009-014

【出願番号】特願 2007-242265 (P2007-242265)

【国際特許分類】

H 0 4 N 7/18 (2006.01)

H 0 4 M 9/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 7/18 H

H 0 4 M 9/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 9 月 14 日 (2011.9.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

訪問者と対面する第一子機、前記第一子機と接続される親機、前記親機と無線で接続される第二子機を有するドアホンシステムであって、

前記第一子機には、訪問者を撮影して撮影画像を取得するための撮像手段が備えられ、

前記第二子機には前記撮影画像の一部であって、前記訪問者の顔部分を含む画像である部分画像を表示させる第一表示手段が備えられていることを特徴とするドアホンシステム。

【請求項 2】

前記親機には前記第一表示手段よりも解像度の高い又はサイズの大きい第二表示手段が設けられており、前記第二表示手段には、前記撮影画像のうち、前記部分画像を含み且つ前記部分画像よりも大きい画像を表示させることを特徴とする請求項 1 に記載のドアホンシステム。

【請求項 3】

前記撮影画像から前記訪問者の顔部分を認識して前記部分画像を抽出する抽出手段と、

前記抽出手段により抽出された前記部分画像を、前記第二子機へ無線により送信する送信手段を有することを特徴とする請求項 2 に記載のドアホンシステム。

【請求項 4】

前記第一表示手段は、前記部分画像を伸張させて表示させることを特徴とする請求項 3 に記載のドアホンシステム。

【請求項 5】

前記第一表示手段への前記部分画像の表示と、前記第二表示手段への画像の表示と、を同時に行わせることを特徴とする請求項 2 乃至請求項 4 に記載のドアホンシステム。

【請求項 6】

訪問者と対面する第一子機と、

前記訪問者を撮影して撮影画像を取得するための撮像手段と、

前記第一子機と接続され、前記訪問者の画像を表示させる第一表示手段を有する親機と、

前記撮影画像の一部であって、前記訪問者の顔部分を含む画像である部分画像を、表示

手段を有する端末装置へ無線によって送信する送信手段と、を有することを特徴とするドアホンシステム。

【請求項 7】

訪問者と対面する第一子機、前記第一子機と接続される親機、前記親機と接続される第二子機を有するドアホンシステムであって、

前記訪問者を撮影して撮影画像を取得する撮像手段と、

前記第二子機に備えられ、前記撮影画像から抽出された前記撮影画像の一部である前記訪問者の顔部分を表示させる表示手段と、

を有することを特徴とするドアホンシステム。

【請求項 8】

訪問者を撮影して撮影画像を取得する撮像手段と、

前記撮影画像の顔に相当する部分画像を抽出する抽出手段と、

前記部分画像情報を表示させる表示手段と、

を備えることを特徴とするドアホンシステム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記の課題を解決するために、請求項 1 に記載のドアホンシステムは、訪問者と対面する第一子機、第一子機と接続される親機、親機と無線で接続される第二子機を有するドアホンシステムであって、第一子機には、訪問者を撮影して撮影画像を取得するための撮像手段が備えられ、第二子機には撮影画像の一部であって、訪問者の顔部分を含む画像である部分画像を表示させる第一表示手段が備えられていることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記の課題を解決するために、請求項 6 に記載のドアホンシステムは、訪問者と対面する第一子機と、訪問者を撮影して撮影画像を取得するための撮像手段と、第一子機と接続され、訪問者の画像を表示させる第一表示手段を有する親機と、撮影画像の一部であって、訪問者の顔部分を含む画像である部分画像を、表示手段を有する端末装置へ無線によって送信する送信手段と、を有することを特徴とする。

上記の課題を解決するために、請求項 7 に記載のドアホンシステムは、訪問者と対面する第一子機、第一子機と接続される親機、親機と接続される第二子機を有するドアホンシステムであって、訪問者を撮影して撮影画像を取得する撮像手段と、第二子機に備えられ、撮影画像から抽出された撮影画像の一部である訪問者の顔部分を表示させる表示手段と、を有することを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

上記の課題を解決するために、請求項 8 に記載のドアホンシステムは、訪問者を撮影して撮影画像を取得する撮像手段と、撮影画像の顔に相当する部分画像を抽出する抽出手段と、部分画像情報を表示させる表示手段と、を備えることを特徴とする。

